



渡辺 優子
(公明党)

定額給付金

質 物価高騰のあたりを受ける家計の生活支援と冷え込んだ個人消費を喚起する定額給付金、早期かつ円滑な給付を図り、地域経済活性化へつなげる具体策を示すべき。

答 3月中旬から郵送申請方式での受付を始め、振込の開始は4月中旬以降になると考えている。また、定額給付金にあわせてプレミアム商品券の発行について能代商工会議所及び二ツ井町商工会から要望書が提出されており、市としても地域経済活性化に資する取り組みであると考え、本定例会に関係予算を計上している。

妊婦健康診査

質 望ましい妊婦健診の回数は14回程度だが、1回の受診に6千円から1万円程度かかる。妊婦や胎児の健康を守り、経済的な心配なく産める環境を整えるために14回すべてを無料にすべき。

答 国では、少子化対策や妊婦の健康管理の充実及び経済的負担の軽減を図るため、22年度まで助成することとしているが、市単独だけで継続することは難しいことから、23年度以降も制度の継続について県と連携・調整しながら、国へ継続して助成するよう要望していく。

その他の質問事項

- ・環境対策
- ・小型家電のリサイクル



原田 悦子
(よねしろ会)

地域の医療体制

質 住民にとって最も重要な地域医療を支える病院の医師や診療科が不足する現状に対して、住民が地域で安心して医療を受けられるための市の取り組みはどのようなものか。

答 県に設置された医師確保対策推進チームと連携を図るとともに、市の広報等によりドクターバンク事業や医師募集などの周知を行っている。国へ均衡ある医師配置について引き続き要望していく。がんや脳血管疾患など生活習慣病予防に向けた生活習慣改善や、健診を受けることなどについての啓発・普及を強化していく。

リハビリテーション施設

質 管内の森岳温泉病院をリハビリ専門施設とするなど、リハビリ施設の充足を働きかける必要がある。機能訓練と心身のケアが組み合わせてできる体制づくりはできないか。

答 秋田県医療保健福祉計画では急性期・回復期及び維持期を通したリハビリの実施体制の充実を目指すとしており、能代山本地域でもリハビリ病棟を設置できるよう、山本地域保健医療福祉協議会の支援もいただきながら要望していく。心の健康づくり対策としては、傾聴ボランティアを中心に心のケア体制の充実に努めたい。

その他の質問事項

- ・市庁舎建設計画
- ・定額給付金
- ・能代産業廃棄物処理センター



安岡 明雄
(市民の声)

「のしろの街歩き隊」の提案

質 木へのこだわりがすがすがしい。想定地域に檜山地域を初め、ふさわしい場所を加えれば「木でつくる街並み・能代」のアピール度が高まる。市は協働し、積極的な取り組みを望む。

答 景観形成は、そこに住む関係者の合意形成を図ることが重要と考えており、景観コンテストや街歩きなど「のしろの街歩き隊」と協働して、目に見える活動を重ねていく。現時点では、中心市街地を足がかりに活動しているが、機運が高まり地域合意が得られた取り組みであれば、エリア外でも歓迎したい。

景観と環境の「木で香るまちづくり」

質 木製ガイドレールを、できる所から試行することを含め、間伐材の活用など県立大木高研と木材産業界との産学官の連携で、環境や地場産業の育成の施策に結びつけてはどうか。

答 米代川流域エリア産学官連携促進事業では、間伐材を用い、木製ダム、木製ガイドレール、木橋等の開発と実用化に取り組んでいる。市は研究成果の動向を踏まえ利活用の検討や関係機関等へ使用を働きかけたい。この事業で培われた研究技術と産学官連携協力体制を基に、市木材関連企業の活性化と地域資源活用型産業の確立を図っていただきたい。

その他の質問事項

- ・子育てをどう支援していくべきか
- ・厳しい経済状況と地域の再生
- ・経産省の支援事業をどう生かすか